

大学生と農山漁村との連携事例



兵庫県立大学

実施主体名: チーム小河(おうご)

担当窓口

兵庫県立大学
地域創生リーダー教育プログラム (RREP) 推進室

URL

<https://note.com/rrep/n/n5a2f87393f7e>



活動内容

学生が主体となった「チーム小河」として、地域の特産品である「ゆず」の収穫・加工を通じて販売する取組みや、田んぼをシカやイノシシの獣害被害から守るための鉄柵点検等の手伝いを実施。また、地域活動への参加や地元食材を活用したイベントの企画、他団体と連携した食育イベントでの小河のゆず・ゆず商品を紹介する企画など高齢化により持続的な地域活動を行うことが難しくなっている小河を盛り上げるための活動を行っている。



きっかけ

兵庫県相生市にある山に囲まれ、田んぼの広がる静かな集落である「小河(おうご)」にフィールドワークの授業で訪れた際に、小河の人たちの温かさに触れ、「自分たちも何かしたい!」との思いから発足したのが始まり。



展望

ゆずの収穫・加工体験やSNS等での地域食材の広報・宣伝、イベントの企画を通して、小河の魅力について発信を行い、持続可能な地域づくりを行っていききたい。



収穫したゆず



鉄柵点検の様子



ゆずみその販売の様子